

令和7年度

事業計画

社会福祉法人 不二健育会

特別養護老人ホーム ケアポート板橋
ケアポート板橋 短期入所事業
舟渡高齢者在宅サービスセンター
舟渡ヘルパーステーション
か も め の 家
東坂下高齢者在宅サービスセンター
板橋区舟渡おとしより相談センター
舟渡居宅介護支援事業所

目 次

Mission(使命) Vision(長期目標) Value(価値)	
施設理念	3
事業計画(全体)	4
組織図	5
事業計画(各部門)	
特別養護老人ホーム ケアポート板橋・ショートステイ	6
看護部	
栄養課	
舟渡高齢者在宅サービスセンター	
一般型・ふじ教室	13
認知型・ひまわり教室	14
舟渡ヘルパーステーション	15
かもめの家(認知症対応型共同生活介護)	17
東坂下高齢者在宅サービスセンター	19
板橋区舟渡おとしより相談センター(介護予防支援)	21
舟渡居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	23
法人全体(事務局・人事・EPA)	24
年間スケジュール	25

Mission(使命) 活力のある高齢社会のサステナビリティを実現する

Vision(長期目標) クライアントの“心を豊かにする”介護施設

Value(価値) 7つのクライアント(顧客)に職員一人ひとりが提供する価値

- ① ご利用者には『輝きの一日』を
- ② ご家族には『安心を超えた感動』を
- ③ 地域には『貢献』を
- ④ 紹介元には『満足』を
- ⑤ 取引先には『納得』を
- ⑥ 職員には『やりがいと成長の場』を
- ⑦ 社会には『希望』を

～ご利用者の“キラキラ輝く笑顔”が私たちの励みです。～

ご利用者に人間としての尊厳を保ちながらも『輝きの一日』を積み重ねて頂くことで、ご利用者の心を豊かにすることを目指します。またそれらを通じ、ご家族に『安心を超えた感動』を与え、職員は介護を通じて『やりがい』だけでなく、人生の先輩であるご利用者と接することで『成長の場』を得ます。そして、生き生きと輝くことができる介護施設の創造により社会に『希望』を与えます。

施設理念

➤ ケアポート板橋

ケアポート板橋は、ご利用者の尊厳を大切にした質の高いチームケアを提供することで、その人らしい生活を支援し、地域の要となれる多機能施設を目指します。

➤ 東坂下事業所

東坂下事業所は、ご利用者が地域住民として、その人らしい生活を送れるよう支援し、地域の方々と共に心豊かになれる地域密着事業所を目指します。

【理念実現時の姿】 スーパー社会福祉法人を目指す

- ① 最大の適正利益を安定して確保する。
- ② どんな依頼も敬意をもって引き受ける。
- ③ 一人ひとりの生きがい、やりがいにあふれた生涯を皆で実現できる。
- ④ 地域の方々が気軽に出入りし、誰もが笑顔で関わってくれる場所となる。(介護の港)
- ⑤ 国内外の介護を志す人が目標にする存在、海外に人材を輩出できる職場となる。
- ⑥ 高い技術、強い意志と深い思いやりをもつ「健育マン」としての誇りを胸に仕事ができる。

■東京都品川区に開設を予定しておりましたが、(仮称)東大井三丁目特別養護老人ホーム(都有地活用)ですが、施設建設業者選定の一般競争入札において、結果不調となり、予定価格との金額差が9億7千5百万円となりました。その結果を受け、資金繰り等を行いました。既存事業の運営、予定価格との金額差を埋めるまでには至らず、事業は撤退となっております。介護報酬収益は、予算比約47,090千円の増収。経費削減においては原価率目標5%に対し5.4%、販管費率20%に対し15.5%となっております。

【1年後の姿】

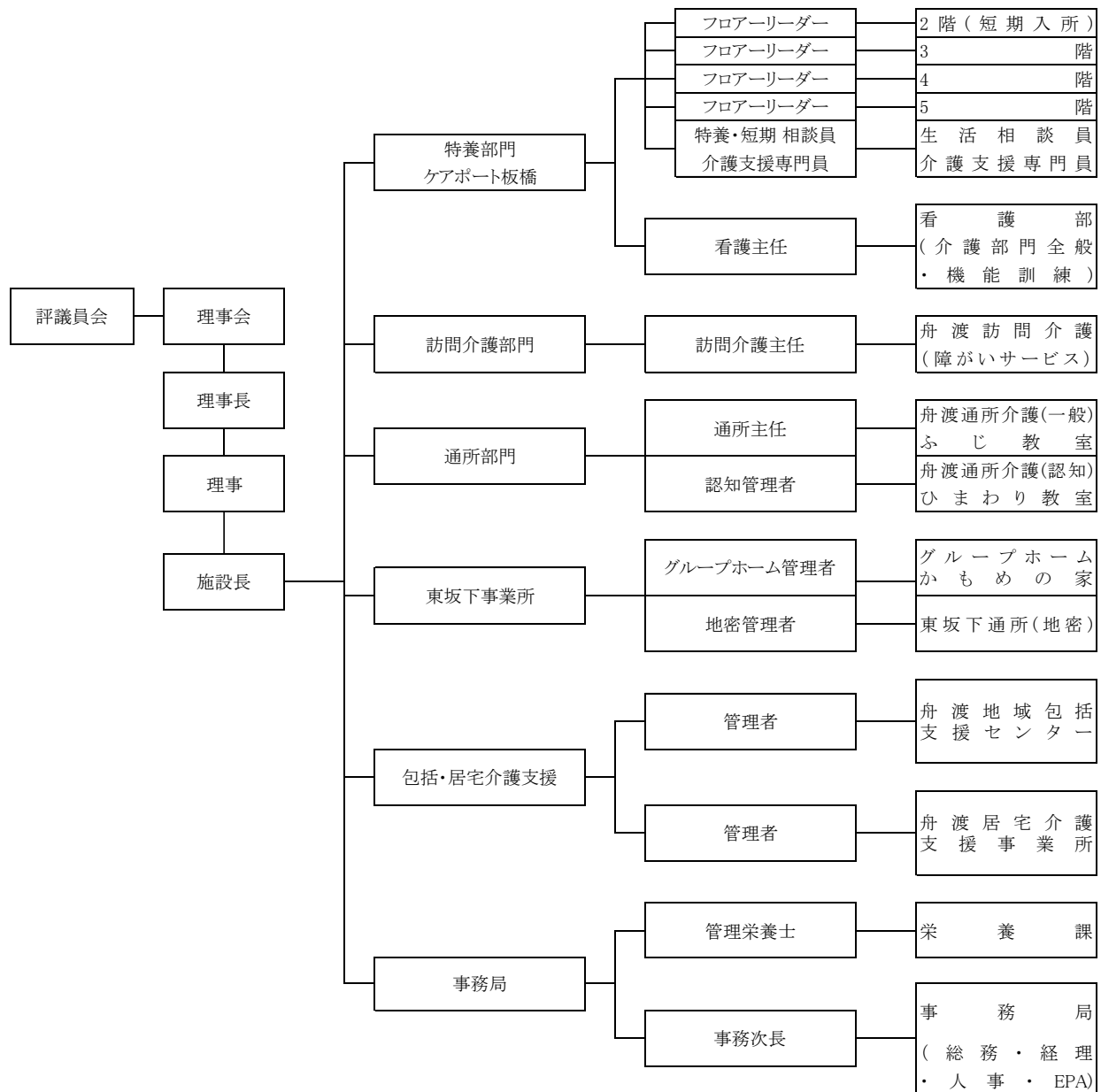
- ① 自立支援・重度化予防に向けた対応…Dxの積極的な導入として、CAREKARTE連動「ハナスト」にて、看護バイタル、排泄記録の実施に至りました。また、トイレ誘導時の2人介助補助として、「サラフレックス」3台の導入にて、ご利用者の安全・安心、職員の負担軽減に繋げております。
 - ② 地域包括ケアシステムの深化・推進…アウターブランディングとして、地域包括を中心に近隣小中学校5校への出前講座や第二層協議体の「支え合い会議舟渡」事務局機能、チームオレンジ高島平の立ち上げなど、板橋区施策に対しても、具体的施策を実行することができております。
 - ③ 制度の安定性・持続可能性の確保…計画的な新規事業展開は残念ながら、撤退となりました。
 - ④ 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり…新加算取得としては、特養における栄養ケアマネジメント強化加算、協力医療連携加算の取得。GHにおいては認知症チームケア加算取得に繋げることができております。
- ◇ 一人当たりの残業時間3時間以内・・・4時間30分と未達
 ◇ 離職率5%以内・・・9.9%と未達(目標12名に対し17名)
 ◇ 有給取得50%以上・・・退職者含まず58.6% 退職者含む61.8%

■今年度も昨年度同様、SDGsチャレンジ項目としSWOT分析を実施し、介護保険改定テーマに合わせ4つの1年後の姿を上げております。

- ① 機会×強み(積極化戦略)・・・自立支援・重度化予防に向けた対応
 - ・取り組みの習慣化・定着化として、Dx及びノーリフト介護におけるスライディングシート使用率100%
 - ・「選択の自由」を基本とした選択の機会を意識して作ると共に、「食」を通じた安全と楽しみの提供
- ② 脅威×強み(差別化戦略)・・・地域包括ケアシステムの深化・推進
 - ・SNSを用いたアウターブランディングの実施と、HP改修による情報発信
 - ・地域貢献事業への積極的な参画にて、不二健育会を知って頂く機会を加速させる
- ③ 機会×弱み(段階的施策)・・・制度の安定性・持続可能性の確保
 - ・BCPに基づいた各部門における実働訓練の実施にて、危機管理対策を日頃より意識する
 - ・タレントパレット導入による業務効率化や経費削減(事務用品費・残業費)
 - ・各等級ごとの「職務」における業務役割を可視化し、個々の成長にて役割均等化を図る
- ④ 脅威×弱み(専守防衛・撤退)・・・良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
 - ・新たな実習生受け入れ校の確保により、受け入れ学生の拡大や、1on1面談を通じた人材育成
 - ・部署を超えた貢献を個々が自ら考え、Ourteam経営に参画する

地域包括ケアシステムの5つの構成要素と「自助」「互助」「共助」を意識し、不二健育会に関わることで全てのクライアントが笑顔となり、支えて下さるファンとなって頂ける様な1年にして参ります。

◇一人当たり残業時間3時間以内 ◇定着率93%以上 ◇有給取得率65%以上



【特養部門】

特別養護老人ホーム ケアポート板橋

(介護老人福祉施設、短期入所生活介護)

1. 特養部

令和7年度は「予算数値目標の達成」「各フロア、多機能施設の強みを活かしたイベントの実現」「主体的に専門職として働ける組織づくり」の3点を中心とし、運営して参ります。

運営面では、高い数値目標ではあるが、安定な運営ができる様、選ばれる施設づくりはもちろんの事、選んで頂いた方に対してのタイムリーなアプローチを実践すると共に、各加算数値目標の取得を目指していきます。ケア面では、個別支援に加え、多機能型施設を活かしたイベント、地域への貢献を実現し、クライアントの心が豊かになるように努めて参ります。

組織面では、職員一人一人が主体的に学べる施設を構築する為に、外部研修、内部研修をすすめ、専門職として働ける組織づくりを目指して参ります。

ショートステイにおいては、昨年度まで積み上げてきた信頼を継続すると共に、特養併設ショートステイを活かした運営を目指します。

(1) 重点施策・目標 【一年後の姿】

① 予算数値目標の達成

- ・特養:稼働日平均 104.5 名、短期入所:稼働日平均 15.3 名 計 119.8 名 (稼働率 99.8%)
- ・経口維持加算 40 名以上、栄養ケアマネジメント強化加算の取得
- ・各委員会目標数値をすべて達成

② 各フロア、多機能施設の強みを活かしたイベントの実現

- ・各居室担当が中心となり「個別支援」を月に 1 回以上は実施する
- ・ショートステイも同様に相談員がご本人、ご家族から情報引き出し、それを利用期間中に実行する
- ・他部署との連携、共同作業を図り、充実した施設生活の提供と地域貢献を行う
- ・利用者満足度調査昨年度対比、全項目数値の向上

③ 主体的に専門職として働ける組織づくり

- ・職員が自ら学びたい事を選び、外部研修に受講できる
- ・外部研修に学んだ事をフィードバック及びアウトプットできる
- ・専門職として得た知識、技術を現場で活かし、評価、認め合うチームを形成する
- ・DXの活用、業務効率を図り、職員が勤務時間内で学べる環境にしてい

(2) 【一年後の姿】に向けた具体的アクション

- ① 空所後から入所までの目標期間は 14 日以内とし、待機者常時 3 名以上を目標とする為、計画的な事前面接の実施、措置入所の受け入れ、(上限 3 名)に加え、選ばれる特養になる為の活動の継続と選んで頂いた方に対しての、タイムリーなアプローチ(事前面接等)、柔軟な居室変更、連携している病院との情報交換をしていきます
- ・短期利用の空所又は特養の空き情報を基に、CM等にタイムリーに伝え、相談員がベッドコントロールを行う
- ・選ばれる施設を目指すために「経口維持(食前口腔ケア)へ取り組み」「拘縮予防(ポジショニング)等」「DXを活かしたケア(利用者満足)」「毎日クラブ(充実した余暇時間)」等を確実に実践し、そのブランドを知って頂く取り組みを行う

- ・多職種によるミールラウンド、口腔内の状態の把握、嚥下状況の確認を行い、経口維持及び誤嚥性肺炎予防に向けての協議していく。その内容をご本人・ご家族に説明し、最期まで美味しく経口より摂取できるようにしていく
- ・栄養ケアマネジメント強化加算取得に向け、適正な管理栄養士の配置、週3回以上のミールラウンドにより、入所者ごとの栄養状態、嗜好等を踏まえた食事の調整等を実施する。また入所者が退所する場合において、管理栄養士が退所後の食事に関する相談支援を行う。低栄養状態のリスクが低い利用者にも、食事の際に変化を把握し、問題がある場合は、早期に対応する。入所者ごとの栄養状態等の情報を厚生労働省に提出し、継続的な栄養管理の実施に当たって、当該情報その他継続的な栄養管理の適切かつ有効な実施の為に必要な情報を活用していく。

○各委員会目標

・食事検討委員会・口腔ケア委員会

誤嚥性肺炎での入院者ゼロを目標とした、食事提供前の口腔ケアを継続し、覚醒を促すと共に口腔内環境の改善、頬の筋肉の緊張をほぐす等の効果を狙い、安全に美味しく食事が食べられると共に健康を保つための一助としていく

・排泄委員会

目標発注量を達成すべく、業者と連携してオムツの見直しを行い、コストを意識した運営を行い、「経費最小」を実践していく。衣類汚染等に至るケースに関しては、オムツ会社のアドバイザーの協力を得て、不快な思いを軽減させていく

・入浴委員会

入浴時や、着脱時に拒否があるご利用者ゼロを目標に、各フロア対象者を一人選出し、「入浴拒否改善計画書」を用い、原因から対策を計画し、成功事例を共有し、その事例を標準化していく

・皮膚トラブル委員会

新規褥瘡発生ゼロを目標に、褥瘡になりやすい方を各フロアがピックアップし、その方の予防策を実行出来ているか予防対策表を用い、継続支援していく。また、再発している方の対策が継続しているかの確認もしていく

・広報・キャラバンメイト委員会

週1回のブログとSNSのアップを目標とすべく、活動の様子や個別支援風景を写真に収め、掲載していく。また、ブログにおいては多くの方が閲覧しているを目標に、閲覧回数が増える取り組みも併せて実行していく

・レクリエーション委員会

毎日クラブの実施率100%と毎月の全体イベント(4大行事含む)を実行すべく、年間計画表を作成すると共に、毎日クラブもご利用者の意見を取り入れながら、ブラッシュアップしていく

・TQM委員会

業務改善を目的とした、TQM手法に則り、目標数値や改善事項内容を達成していく。また、その内容が期間後半には定着、ブランド化が出来ている様、歯止め対策を確実に実行していく

②各居室担当者が中心となり、ご利用者の一人一人の希望を叶えたり、その方のこだわりを継続支援していく。また、その内容を月末評価に記載し、更なるその人らしさが出る生活支援を実施していく

- ・ショートステイにおいては、相談員が在宅生活を継続的に過ごして頂く事を目的として個別支援ニーズを吸い上げ、その内容をケアプラン、口頭でフロアに伝達し、利用期間中に実行できるように支援する

- ・栄養課とは「食のイベント」を協働し、各フロア2ヵ月に一度ぐらいのペースで開催していく。

包括とは広報地域づくり委員会が中心となり、近隣の小中学校の生徒に対し、認知症の方、高齢者の方の思いを伝える出前講座に参加していく。

東坂下事業所とは「子供食堂」の手伝いと、入所されている方の対応の意見交換を行い、幅が広がるケアの展開をしていく

デイサービスとは、入浴環境の整備、困難事例に対してアドバイスを行っていく

- ・年2回実施している利用者満足度調査の評価、コメントを真摯に対応し、改善していく

③各職員が自ら学びたい外部研修を見つけ、その研修を受講する。その内容をフィードバック、アウトプットできる様に纏め、知識、技術を深く広めていく。各職員半期に1回は受講できる目標とする。

- ・「学べる施設」の再構築する為に、教育チームが中心となり、新入職に対し基礎知識を教え、中堅職員に対しても基礎知識+応用を教える。
- ・専門性がある事柄やご利用者、ご家族、施設等に良い影響もたらす事に対して、リーダー層管理職はキラキラ介護賞の推薦、サンキューレターの活用を通して、認め合うチームを強化していく
- ・現在使用しているDXは継続できるように支援し、新たに活用できるDX等の情報収集も同時に行う

3) 各種委員会

No.	委員会名	開催日	役割・内容
1	入所サービス委員会	第2水	・入所サービス総合検討 ・接遇向上のためのしくみづくり ・チームケアの管理
2	感染対策委員会	第2水	・感染症予防対策 ・手指消毒の点検 ・研修会の開催・情報提供
3	労働安全衛生委員会	第2水	・職場環境整備と健康管理と施設の衛生管理 ・ストレスチェック
4	虐待防止・拘束ゼロ委員会	第2水	・虐待防止について ・身体拘束廃止
5	職場環境改善委員会	第2水	・職員が働きやすい環境づくりを検討 ・職員の意見や希望を汲み取り、対応する。 ・月間MVPの管理
6	教育委員会(TQM委員会)	第4水	・介護技術向上のための情報収集 ・一般職員への指導・教育 ・TQMの推進 ・介技術向上に関する勉強会での発表 ・介護福祉士、介護支援専門員の学習会企画・実施
7	広報・キャラバンメイト委員会	第2水	・2ヵ月に1回広報誌発行と週1回のブログ発信 ・社会資源の活用 ・ボランティア募集・受入窓口
8	排泄委員会	第2水	・排泄用品の発注、管理 ・排泄汚染に対する検討 ・汚物処理室の衛生管理
9	皮膚トラブル防止委員会	第2水	・褥瘡の処置についての検討 ・褥瘡予防についての検討 ・皮下出血の対策の検討

			・ポジショニング、シーティング技術の職員教育
10	リスクマネジメント委員会	第 2 水	・事故報告書をもとに今後の対策の検討 ・技術的な基本介護の見直し、徹底 ・職場内研修の開催
11	医療的ケア安全対策委員会	第 2 水	・介護職員への医療的ケアの指導・教育 ・医療的ケアでのヒヤリハット報告の確認と対策 ・医療的ケアにおける感染症対策の検討
12	看取り体制についての 検討会議	第 2 水	・看取り体制についての検討 ・振り返りシートの確認
13	レクリエーション委員会	第 2 水	・各クラブの運営状況を把握し、クラブの充実 ・地域の公共施設との交流を深める ・レク用品の発注、管理等物品整理
14	入浴検討委員会	第 2 水	・入浴関連物品の発注、管理 ・感染者出現時等、入浴変更の検討 ・浴室の環境衛生管理 ・入浴拒否に対する検討
15	食事検討委員会	第 2 水	・食事イベントの立案、準備、実行 ・食堂パントリーの環境衛生に努める ・食事関係物品の発注、管理
16	口腔ケア委員会	第 2 水	・食事嗜好についての情報収集と意見交換 ・口腔ケア方法、物品の検討 ・口腔ケア推進のための資格取得
17	行事委員会	状況に合わせ開催	・行事 2 か月前より開催 ・次期委員長の育成

(4)年間行事予定

月	行事	行事食	費用	その他
4 月	お花見	桜餅・花祭り		
5 月	遠足	端午の節句	外出実費	
6 月		カニづくし		
7 月		七夕献立		
8 月	納涼祭・花火大会	模擬店		
9 月	敬老会	お祝松花堂弁当 おはぎ		
10 月	遠足	体育の日	外出実費	
11 月	運動会・	鮭の日		
12 月	年忘れお楽しみ会	会食 クリスマス		家族懇談会
1 月	新年会・餅つき	おせち料理		

2月	節分会	節分		
3月	お雛祭り	雛祭り		

2. 看護部

ご利用者が心身ともに健康な日々が送れるように、施設看護としての役割を考え、日常生活のサポートに努めていきます。

日々の健康状態の把握から早期発見に努め、体調の変化に応じた対応ができるよう、協力医療機関 竹川病院をはじめ、地域の医療機関と連携を図り、早期の予防ケア・早期対応ができる体制を整えていきます。

特養介護・栄養課との協働、グループホームかもめの家、通所介護との連携を継続し、専門職として安心と安全が提供できるよう、総合的なサポートを目指します。

理念実現時の自部署の姿
ご利用者一人一人が、その人らしい生活が送れ、その人らしい看取りを行っている。看護職員一人一人が医療介護の知識技術を高め、チームケアにおいて適切な看護判断、医療判断を行っている。

(1) 重点施策・目標 【1年後の姿】

①健康管理と施設でできる医療・看護の提供。

- ・日々のご利用者の健康状態の把握。
- ・医師、地域医療機関と連携を図り、必要な予防ケア・早期治療ができる体制を整える。
- ・職員の健康相談と健康管理、職員が持ち込まない体制が整っている。
- ・感染症や緊急対応の初動が速やかに行え、対策対応ができる。

②看取り加算 95%取得(IC:1～2件/月)。地域病院、多職種連携を図り、最期までご利用者の意向に沿った看取りケアの提供。

- ・入所時からACPを計画的、継続的に実施。
- ・健康診断結果を基に、ご利用者の現状態をご家族と共有する。
- ・ステージ毎の変化をご家族と共有し、施設でできるケアを最大限に提供できる。

③専門性を発揮できるチーム力の向上。

- ・ご利用者一人ひとりに合わせたケアの提供。
- ・知れた情報をチームで共有し継続していく。

(2) 【1年後の姿】に向けたアクション

①ご利用者の健康管理と日常生活のサポート。

- ・協力医療機関との連携、診療体制の継続。日常的ケアの継続。
- ・日々の関わりからや介護職員の情報からご利用者の状態を把握し、体調の変化に応じた対応や治療ができる体制を整える。
- ・緊急時対応を全職員が行える教育体制を整える。
- ・感染症対策として、感染症予防の基本的な対応の標準予防策が確実にできるようにし、起きた時のことを具体的に現場に周知し拡大防止に努める。

- ・職員の健康相談、健康管理を行う。少しでも不安に思うことなど精神面からのサポートを行う。
 - ・他部門との連携、トータル的なサポートができるよう業務体制を整え、情報交換・共有を図り、よりよいケアが行えるようにする。
- ②尊厳ある安らかな最期を迎えられるよう、ご利用者・ご家族の意向に沿った対応を行うため、医師と連携を図り、住み慣れた環境の中で穏やかに過ごすことができる。
- ・生活の場として、ご利用者にできる医療・ケアの提供を行い、それをご家族に知って頂くと共に、良いケアに繋ぐためにも、入所時・面会時。状態変化時には連絡を行い方向性についてご家族と一緒に考え歩める体制を整え、最期まで生活をベースとした意向に沿ったケアが行える。
 - ・施設内診療時にインフォームドコンセントを行い、「医師意見書および看取り介護についての同意書」を医師の指示の基に作成。全看取りご利用者の同意を作成する。
 - ・個別性を考えたケアの取り組みができ振り返りが行える。
- ③常に専門職としての意識・責任をもった行動ができる。
- ・ご利用者のケアや状態から、1回/週のプチカンファレンスと1回/月のカンファレンスを実施し、対話できる時間を設けることでご利用者の情報共有とケアの評価を行う。
 - ・個々の持っている知識からご利用者の個別性に合わせたケアが選択でき、チーム全体で取り組める体制を作る(毎日の情報交換を継続。状況から振り返りを1回/月実施継続)。
 - ・アロマケア技術者(看護2名・相談員1名)による、ご利用者のリラクゼーション、浮腫緩和・拘縮予防のアロマケアを定着(1回/週)。対象ご利用者31名を毎月実施。
ご利用者の状態に合わせた、アロマケアを継続していく。
 - ・スキンケアをフロアと協働し継続して行い、スキンケアゼロを目指す。
 - ・学研オンデマンド視聴(1回/月)と看護内勉強会・振り返り(1回/月)の継続。

(3) 健康診断(ご利用者)

入所時健康診断	身体測定、血圧測定、検尿、血液検査、心電図、胸・腹部レントゲン、頭部CT	※疾患・事前データにより付加検査あり。
お誕生日検診	身体測定、血圧測定、血液検査、胸部レントゲン	※疾患による付加検査あり
11月～12月	インフルエンザ予防接種	
その他	週1回のバイタル測定、随時血糖値測定、体重測定、血液検査、肺炎球菌ワクチン予防接種	

(4) 健康診断(職員)

採用時健康診断随時	身体測定、血圧測定、検尿、血液検査、心電図、胸部レントゲン
定期 9月	問診、視力、聴力、身体測定、血圧測定、検尿、血液検査、胸部レントゲン、心電図(35歳以上)、腰痛検診、胃部X-P(希望者)
7月	検便による細菌検査
11月	インフルエンザ予防接種
3月(夜勤従事者)	問診、身体測定、血圧測定、検尿、血液検査

3. 栄養課

ご利用者に美味しく、楽しく食べていただけますよう、行事食やイベント食などを多く提供し、食事摂取量の維持に努めてまいります。安心して召し上がっていただけますよう、衛生・安全に配慮し最新の知識を深めてまいります。栄養ケアマネジメントをおこない、多職種と協働し、その人らしい生活にも配慮した栄養ケアをおこなってまいります。ご利用者と積極的に関わる機会を増やし、職員のやりがい・成長の場にもなり、チームで協力して取り組んでまいります。

理念実現時の自部署の姿
食事が美味しいと残さず召し上がっている。 ケアポートの食事は行事食やイベント食等、楽しみが多いとご利用者に喜ばれている。 多職種、他部署と協働し、個々に沿った栄養ケアがおこなわれている。 職員同士、意見が言いやすい環境であり、やりがい・成長の場となっている。様々な取り組みが、ご利用者の喜び・笑顔につながっている。

(1) 重点施策・目標【1年後の姿】

- ① 予算内（300 円/1 食）で充実・安定した食事の提供ができている。
- ② 食事満足度 4.5 以上を維持している。
- ③ ご利用者に合った個別の栄養ケアをおこなえている。
- ④ 意見が言いやすく、お互いの意見を尊重し、気持ちよく働ける風土ができている。

(2) 【1年後の姿】に向けたアクション ～具体的には～

- ① 行事食や選択食、郷土料理弁当などのイベント食、手作りおやつ、ご利用者参加企画等々、また、新たな企画も積極的に取り入れた献立を提供する。
- ② 調理担当職員がペアで特養各階担当になり、ご利用者が楽しめるイベントを企画・実施する。
- ③ 特養ご利用者の誕生日当日に、希望の料理とデザートを誕生日カードと一緒に用意し、記念となる食事を提供する。
- ④ 年 4 回、残菜調査をおこない、結果を PDCA サイクルで運用し、喫食率 90%以上を目指す。
- ⑤ 物価高騰で食材・食材に関わる物が値上がりしているが、新鮮で安全な商品を吟味し、満足度を上げつつ予算内運用を工夫する。地元業者を大切にする。
- ⑥ 災害・緊急・感染症など非常時も食事を提供する。非常食の保管・管理を職員間で共有する。
- ⑦ ミールラウンドの評価に基づき、調理方法、食形態の見直しをおこない、より食べやすい食事を提供する。
- ⑧ 食品衛生勉強会を毎月 1 回、また、事故報告・インシデント報告があった際は、委員会で上がった意見を話し合い共有する時間を作り再発防止を意識する。

【通所部門】

舟渡高齢者在宅サービスセンター

(併設型通所介護/予防・一般)ふじ教室

理念実現時の自部署の姿
① 3つの三本柱が機能されている 【活動】選べる環境と魅力がある 【役割】地域の中でご利用者がやりがいを感じられている 【運動】生活の困りごとの解消と、生活の不安解消につながっている ② 職員がやりがいと働きやすさが実感できる職場となっている。

(1) 重点施策・目標【1年後の姿】

- ①
 - I.ご利用者が選べる【活動】を毎回提供し年間実績平均一般 844 名 予防 116 名を目指す。
 - II.【役割】を通じて地域との持続的な繋がりを 3 件以上(年間継続)目指す。
 - III.個別機能訓練のニーズに即座に応える事で個別機能訓練 I 2 加算の年間稼働66%を目指す。
 - また、要支援者向けプログラム《自己完結型リハビリプログラム》の推進により、予防リハビリ実施率50%(実績に対し)を目指す。
 - IV. 質の高い入浴サービスを提供する事で入浴加算 I の年間稼働57%を目指す。
- ②
 - I.学ぶ機会と学んだ知識や技術を活かせる環境作りを目指す
⇒ 目標離職率 0%
 - II.ムダ・ムラ・ムリのない業務遂行
⇒ 目標残業平均 4.5 時間/月 以下

(2)【1 年後の姿】に向けたアクション

- ①
 - I. 午前(集団活動)・午後(選択活動)として、
 - ・活動のポスター告知と動画撮影により内部と外部でアピールする
 - ・ご利用者個々の興味・関心の確認と評価(毎月)
 - ・ご利用者が自発的に取り組める環境整備(見える化)
 - II. 地域活動委員会メンバーとの協同により、ご利用者が一端を担う地域企画の立案
 - ・支え合い会議
 - ・キャラバンメイト
 - ・子ども食堂
 - III. 個別機能訓練の取り組み方法やアイデアを外部、内部から情報収集し、質の向上と効率化を図る
要支援者へのリハビリプログラムを見直し(ニーズからプログラムへ繋ぐ)
また、6 か月に 1 回のご利用者評価を行い、見直しを図る
個別機能訓練の中止理由を分析し、実施率を高める
- ②
 - I. 全職員の外部研修受講を勧めていく。また、研修フィードバックにより学びを共有する。
 - II. 職員個々に役割を設ける。業務時間内の効率化を日直中心に図っていく事で残業時間を減らす

舟渡高齢者在宅サービスセンター

(併設型通所介護/予防・一般)ひまわり教室

理念実現時の自部署の姿
①認知症の方や医療ニーズの高い方への専門的な関りにより、ご家族に感動を、紹介元に納得されたデイサービスとなっている ②職員がやりがいと働きやすさが実感できる職場となっている。

(1)重点施策・目標【1年後の姿】

- ①
 - I. 相談に対し積極的な受けいれを行う事で年間実績平均 257 名を目指す。
 - II. 関係機関との細かな情報共有により、安心したサービスが提供されている。

目標数値： 医療(的)処置のミス 0 件
- ②
 - I. 学ぶ機会と学んだ知識や技術を活かせる環境作りを目指す

⇒ 目標離職率 0%

(2)【1 年後の姿】に向けたアクション

- ①
 - I. 【脳の活性化】【運動機能の維持・向上】【コミュニケーション】を毎時の活動に反映し認知症ケアの特化プログラムを確立する。
 - II. 全日医療ニーズに対応できる環境を整える【経管栄養の対応】
ご利用者の状態・状況の細やかな変化に気づく仕組みと、MSC 参加による関係機関との速やかな情報提供を図る
- ②
 - I. 認知症介護基礎実践者研修(介護常勤対象)
認知症介護基礎研修 (非常勤且つ介護福祉士資格取得者以外)
上記 2 点の研修受講若しくは認知症ケアに関する研修への全職員参加を促す

舟渡ヘルパーステーション

(訪問介護/予防・一般)

(障害サービス/居宅介護・重度訪問介護・移動支援)

令和 7 年度は人員の更なる定着、ICT 化・効率化に尽力して参りたいと思います。その為に、移動費等の仕組みを再構築し、紙媒体からデータ送信に切り替える事で時間・費用面の削減を図ります。毎月の予算達成に向けた取り組みとしましては、要支援・要介護のバランスに注視しながら受け入れを継続して参ります。障害サービスに関しても、ご依頼を親身に受け入れさせて頂く事で、その方が安心して支障のない在宅生活を継続できる様に努めるとともに、『舟渡ヘルパーステーションに頼めば安心』と、地域や関係機関に頼られるヘルパーステーションを目指します。

理念実現時の自部署の姿
・どんな曜日・時間帯・レベルのケースであっても受け入れ、「舟渡ヘルパーステーションに頼めば安心」と依頼が殺到する事業所になっている。 ・スキルアップの希望から入職希望が後を絶たない事業所になっている。

(1) 重点施策・目標 【1 年後の姿】

(安全) に関して

毎月のリスクマネジメント会議の参加継続により、現場から抽出されたヒヤリハットや発生事故に対し、専門職の意見も参考にし再発防止がなされている。毎月の気付き件数 40 件、年間ヒヤリハット（レベル 0）件数 20 件を目標として達成している。

(経営) に関して

3 ケース（介護・予防・障害）の受け入れを継続し年間総訪問件数 13,778 件を達成している。空き状況を把握する（情報を常に更新・見える化）事で収入最大化を保っている。ステーション業務において、ICT 化・効率化により、移動費等の仕組みが再構築され時間・費用面の削減ができています。

(親身な対応) に関して

障害サービスにおいて、毎月の目標件数を達成（年間総訪問件数うち障害サービス総件数 850 件）。ご本人や相談支援専門員からのご依頼に対して積極的な受け入れが来ている。ご利用者都合休に関して毎月 25%の振替（介護・障害合算）を達成でき、必要なサービスが少しでも行き届く様に努められている。

(2) 【1 年後の姿】に向けたアクション ～具体的には～

(安全) に関して

日々の訪問報告からの気付きの抽出を各サ責が行い、関係ヘルパーに共有。毎月の気付き件数 40 件を目標とする。レベル 0 のインシデント件数 20 件を目標とする。発生事故に関しては、リスクマネジメント会議を通じて専門職の意見も聞き再発防止に努める。

(経営) に関して

要支援・要介護ケース・障害ケースの受け入れにより、年間総訪問件数 13,778 件を達成している。限られた人員で最大稼働を目指す為、空き状況を把握（情報を常に更新・見える化）。そうする事で収入最大化を保っている。ステーション業務においては、ICT 化・効率化に向け、移動費等の仕組みが再構築され時間・費用面の削減ができています。Ourteam 経営により、トップダウンではなく職員一人一人が経営者意識を持つ事で全体的基盤の底上げを保てる様にする。

(親身な対応) に関して

障害サービスにおいて、毎月の目件数を達成（年間総訪問件数うち障害サービス総件数 850 件）。ご本人や相談支援専門員からのご依頼に対して積極的な受け入れが出来ている。

ご利用者都合休に関して毎月 25%の振替（介護・障害合算）を達成でき、必要なサービスが少しでも行き届く様に調整する。

新規受入れに関しては、「舟ヘルレター」をケアマネ事業所に毎月配布。

かもめの家

(認知症対応型共同生活介護)

令和7年度は、「安定した経営」、「当たり前の生活支援」、「専門性を活かしたチームケアによる組織作り」の3点を中心に運営して参ります。

経営に関してはお受入する対象の間口を広げる事により、安定した稼働を維持し、予算達成を目指します。ご利用者への生活支援に関しては、買物や食事作り、調理、他の家事、趣味活動を通した役割や楽しみによる「やりがい」「生きがい」を感じて頂ける支援を継続して参ります。組織作りには認知症を専門とする集団としての専門性を高め、職員の「やりがい」に繋げていきます。

理念実現時の自部署の姿
ご利用者が有する能力を最大限に活かす自己決定、自己選択が確立し、グループホームのケアモデルとなっている。常に満床状態である。 職員が黒子に徹する統一したケアが確立している。

(1) 重点施策・目標 【1年後の姿】

- ① 稼働日平均 17.3 名
- ② 第三者評価 ご利用者調査 90%以上
- ③ 第三者評価 職員調査「組織マネジメント」「サービス提供のプロセス」60%以上

(2) 【1年後の姿】に向けたアクション ～具体的には～

① 安定した経営

- ・以前よりニーズが高い、生活保護受給者の方を受け入れる事により、長期空床を防いでいく。
在宅部門相談員及び福祉事務所と連携し、待機者確保も見据えていく。
- ・医療連携看護と情報共有を密に行い、ご利用者の異常の早期発見、対応を迅速に行う事により長期間の入院を防止していく。

② 利用者満足度向上

- ・食事に関する一連の支援継続、「出前」「外食」の定着。
「当たり前の生活」を提供すべく、毎月全体会議を開催し、都度支援内容の見直しを行いスピード感とチャレンジ精神で実現する。
- ・板橋区へは地域密着型サービス事業所連絡会において協働し、認知症の方々にとって住みやすい板橋区を作るお手伝いを行っていく。

③ チームケアによる組織作り

- ・全体会議の場で職員向け勉強会を行い、年間を通して職員が根拠に基づいた介護やチームケアを行い、「やりがい」を持って「仕事」が出来る環境を整える。
- ・職務、職責を基に業務改善を行い、職員のストレングス活かしつつ負担の分散化を図る。
平均残業時間 4 時間以内/月を目指す。

(4) 年間行事予定

月	行事内容	その他
4		

5	寿司会食	運営推進会議
6		
7	納涼祭	運営推進会議・総合訓練
8		
9	敬老祝賀会	運営推進会議・家族懇談会・志村五桜町会神輿
10	かもめマルシェ	
11		運営推進会議
12	年忘れ会	
1	初詣	運営推進会議
2	節分会	利用者満足度調査・第三者評価
3		運営推進会議・家族懇談会・総合訓練

東坂下高齢者在宅サービスセンター

(地域密着型 通所介護／予防 ・一般)

高稼働を常に実現している地域密着型 通所介護として今期は「質の向上」を掲げ、舟渡デイ連携の元、より洗練されたデイサービスを目指ためにデイサービス部門の一体化を行うが、新しい運営形態の中でも「働きやすい事業所」として職員の「健康」「安心」「充実」が得られるような職場作りにも注力して行く。「こども食堂」に於いては「会食形式」に戻し本来の運営の姿に戻す事を命題としており、更に地域共生の街づくりの一助を担う拠点を目指して行く。

理念実現時の自部署の姿

東坂下デイに通所される全対象者が多様性のある地域住民としての人生を送り、そのご家族や職員、関わる全ての人に笑顔と幸せをもたらしている。
地域から選ばれるデイになり稼働達成が安定。継続性のある運営ができています。

(1) 重点施策・目標【一年後の姿】

- ① 選ばれるデイとして年間平均稼働日実績 15.4人/日以上を達成。
- ② 両デイ職員の連携にて質の高いケアの提供、人材育成の両立。
- ③ 地域事業に参画しており、地域共生の一助を担う拠点となっている。

(2) 【1年後の姿】に向けたアクション ～具体的には～
基本の3つの売り(調理活動・ドア to 対応・利用毎入浴)は継続。

① 質の向上(活動・環境面)

・活動の見直しを行い バリエーションを増やす・質向上を行う。
※舟渡デイの活動の横展開 (リハビリ体操 リズム打楽器 音源を使用した体操レク)
2 項ジョブローテの活発化により舟渡職員から活動の横展開していく。

・調理活動の変更

※個々の技術のレベル分けとその記録。

調理・配膳まで担う活動への変更。

・環境整備

事務所内に静養場所の増設。

⇒事務所も不必要なものを排除、通所予定や職員配置のボードの変更で
スペース確保。

静養場所の主体を事務所に移しフロアを広く活用する。

実現時の達成項目・数値

予算 日/15, 4以上の稼働達成(年間)必達を目標とする

新規 年/40

追加 月/5.18 以上

入浴 日/290 以上

理事長賞提案数 年/3 以上

理事長賞獲得数 年/1 以上

②舟渡・東坂下両デイ職員の一体化

・職員の出勤場所の統一

4月より坂下デイ職員のケアポート出勤⇒坂下デイ勤務の体制開始。

舟渡デイと送迎組成を一体化する事で連絡系統の統一と送迎の効率化。

・ジョブローテーションの推進

舟渡デイジョブローテーションの人員を増やしていく。

1日5名配置の実現で「質の向上」に着手。

坂下単独送迎できる舟渡デイ職員育成 年間2名目標

・今まで常勤が担っていた受け入れ準備・業務終了後の清掃他、事業所での業務を機能訓練指導員、舟渡デイの坂下出勤職員へ移行。

また清掃や食器洗い、浴後整容のボランティア募集を再開し職員負担軽減。

・BCP 策定

昨年末の研修内容による最新のBCP策定。

GH・舟渡デイ共同の内容。連絡系統、体制、備蓄量の見直し等一新する。

ジョブを担う舟渡デイ職員にも共通理解。

水害等予測できる災害の場合は事業停止し GH・ケアポート支援など事業所全体での動きを行う。

実現時の達成項目・数値

会議体の実施 年/12

サンキュレター 月/8 以上

離職率 年/0

一人当たりの残業時間 月/8 以下

③ 地域になくてはならない施設へのアクションとして

地域等との連携、交流への取組

・地域行事への積極的な参加継続(さくら祭・町会総会・地域清掃・神輿)

・地域に向けた行事の展開(こども食堂・かもめマルシェ・認知症サポーター養成講座等)

「こども食堂」は本来のあるべき姿として「会食形式」への回帰。

※月10組 申込制 17:00～18:30

1回/毎月の開催(年12) 委員会職員負担軽減のためローテーションでの組成を組む

・運営推進会議(GH共同開催 年2回)開催し相互の情報共有の場を提供

板橋区舟渡おとしより相談センター

(介護予防支援及び介護予防マネジメント)

世帯複合の課題(8050、ダブルケア)、頼る人がいない、周囲が気づいていても対応がわからない、見て見ぬ振り、貧困、生活困窮など社会的孤立、排除がある現状。分野を超えた課題に総合的に相談に応じる体制づくり。

令和 7 年度

理念実現時の自部署の姿

舟渡地区だけでなく、板橋区の地域包括ケアシステムの要となっている。地域支援事業のモデルとなっている。

(1)重点施策・目標【1年後の姿】

- ① 実績 稼働平均()件を達成できている。
- ② 行政委託事業の実施・予防的アプローチと地域づくり
- ③ 地域の元気高齢者が介護予防を目的として集いの発展

(2) 【1年後の姿】に向けたアクション ～具体的には～

- ① ・短期集中コース、住民主体型サービスを 10 名利用している。
 - ② ・小地域ケア会議 年2回開催 (他職種連携強化、地域課題の発見・改善)
- ・出前講座(住民対象) 年6回開催 (介護予防の啓発、認知症サポーター養成等)
 - ・ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿の全登録者の状況把握
 - ・チェックシートを 60 件実施する。
 - ③ ・支え合い会議(第 2 層協議体)へ参加し、地域課題の解決、活性化に向け参画する。
 - ・チームオレンジの整備(認知症施策推進大綱)

事業内容

(3) ①板橋区からの「令和 7 年度地域包括支援センター業務委託仕様書」に基づく委託業務を受託し、これを行う。

- ・ 「おとしより相談センター 事業評価表(板橋区版)」の評価基準「A」を達成する。

②新予防対象高齢者介護予防マネジメント(指定介護予防事業所)

- ・ 介護認定における要支援1、2 の介護予防給付対象者、第1介護予防支援事業該当者について、寝たきり等の要介護状態にならない為の適切な介護予防事業等を利用できるように支援し、サービス担当者会議で検討のうえ、介護予防サービス・支援計画表を作成する。又、定期的なモニタリング・評価を行い、必要に応じてケアプランの見直しを行う。この業務は原則、介護報酬によって実施する。

(4)職員の職種、職員数

主任介護支援専門員	1名以上(常勤)
保健師	1名以上(常勤)
社会福祉士	1名以上(常勤)
介護支援専門員	1名以上

(5)年間行事予定

年間 事業予定	開催日	開催時間	場所	頻度
高島平地区別連絡会	第一木曜日	15:00～17:00	未定	年 1 回
センター長連絡会	第三木曜日	15:00～17:00	おとしより保健福祉センター	年 3 回
地区ネットワーク会議	未定	13:30～15:00	工場ビル or 高島平区民館	年1回
相談協力員研修	未定	13:30～15:00	工場ビル or 高島平区民館	年 2 回
事業者交流会	未定	15:00～16:30	高島平区民館	年 2 回
認知症サポーター養成講座	未定	未定	未定	年 2 回程度
認知症サポーター交流会	未定	未定	未定	年 1 回程度
もの忘れ相談事業		13:30～15:15	舟渡ホール 他	年 3 回
認知症カフェ	火曜日	13:30～15:00	ゆずり葉	毎月 2 回
認知症初期集中支援事業	隔月	11:30～12:30	新河岸クリニック別館	奇数月

舟渡居宅介護支援事業所

(居宅介護支援)

ご利用者の心身の状況、環境などに応じて、自立した生活が送ることができるように、ご利用者の立場に立って支援します。また、サービス実施にあたっては、ご利用者の意思を尊重し選択に基づきサービスが総合的且つ効率的に提供されるように公正中立の立場で支援します。

【自部署の姿】

地域で暮らすご利用者に対し、職員 1 人 1 人が地域のニーズを理解・把握し、ご利用者が多問題を抱えたとしても、住み慣れた地域で過ごしていけるようケアマネジメントしている。

(1)【重点施策・目標】

- 1、給付管理数3,039/年間を達成している。
- 2、舟渡地域唯一の特定事業所として誇りを持ち、質の高いケアマネジメントを提供している。
- 3、職員が安心して継続して働ける事業所で、外部から「舟渡居宅で働きたい」と思われる事業所となっている。

(2)【アクション】

- 1、新規依頼は、可能な限り受託する
 - ・包括やサービス事業所、医療機関との連携を強化しスタッフ間の関係性を構築する。
 - ・可能な限り加算を取得する。
- 2、地域の勉強会・交流会、自己研鑽等を通じ質の高いケアマネジメントを提供する
 - ・板橋区や包括等が主催する研修会や交流会に可能な限り参加する。
 - ・情報共有システム「STOCK」を活用し、どこでもご利用者の情報が把握でき、担当者不在時でもご利用者・ご家族・取引先を待たせることなくケアマネジメントを行う。
 - ・定期的に担当を交代する。
 - ・テレワークを継続し、運営基準減算項目を確認し書類の遅延や不足を無くす。
- 3、職員が効率よく安心してケアマネジメントを行うことができる。
 - ・他問題、支援困難ケースについては複数担当制を行う。
 - ・有事に備えテレワークを継続する。
 - ・職員の欠勤などの場合に備え、職員間のサポート体制を維持する。

(3)研修・会議の年間予定

- ①事業所内会議(週1回)
- ②東京都介護支援専門員現任研修・更新研修(随時)
- ③東京都主任介護支援専門員新規・更新研修(随時)
- ④板橋区居宅介護支援事業所集団指導(年2回)
- ⑤高島平地区事業者交流会(年3回)
- ⑥蓮根地区事業者交流会(年3回)
- ⑦舟渡地区事業者交流会(年3回)
- ⑧ケアマネジメントの質の向上に繋がる研修(随時)
- ⑨他法人との事例検討会(年1回)
- ⑩ケアマネジメント学会(年2回)
- ⑪日本介護支援専門員協会 全国大会(年2回)

【事務局】

法人全体(事務局・人事・EPA)

MVV 浸透、施設理念「クライアントに愛情をもって親身な対応」また、働きがいのある 職場構築、事務局の心得を継続してまいります。

理念実現時の自部署の姿
適正な利益の最大化が仕組化され、職員を適正に評価し職場環境が良い施設になっている。 多くの「健育マン」が育っている。EPA の取組みを継続し、外国人、日本人が協働し質の高いケアを提供している。教育システムが確立している。

(1) 重点施策・目標 【1 年後の姿】

- ① ご利用者の笑顔、安全。職員の働きやすい介護施設になっている
収入最大・経費最小化・予算必達、助成金の取得
- ② 小規模事業の新規計画を策定し、近隣ご利用者ニーズ、職員成長の場や収入増に繋げる
ES:職場の雰囲気 3.77、有給取得年間 5 日以上・残業時間が約 1 時間(1 人平均目標) 以内
- ③事業継続計画(BCP)の充実・推進を行い、ご利用者・職員の安全安心、地域との連携を密にし、自然災害備える
- (2)【1 年後の姿】に向けたアクション ～具体的には～
 - ① 受付業務から職員の声を届き易くする環境を整え(目配り、気配り、素早い行動)、風通しのよい職場とする
 - ・無駄な経費削減をさらに意識した削減を行う(目標)
 - 消耗品・・・電子承認システムを活用し 紙資料から電子化により 年間 201 千円の削減
 - 光熱費・・・電気料金に関して節電活動及び電気販売企業と協力により 年間使用量 5%削減
 - 残業費・・・職員の体調管理、ワークライフバランスを考慮した業務・分担をする事で年間 120 千円
 - その他・・・福利厚生費等の仕入れを見直し、質を落とすことなく、見直しを行う 年間 55 千円の削減
 - ② 営業エリアのニーズ、地域性を考慮、精査し、法人の方向性を見極める
居宅サービス事業部門と連携、情報収集を行う
 - ③ 今後 30 年以内発生する可能性がある、南海トラフ巨大地震・首都直下地震に備えて、事業継続するために、計画に伴う準備を行う(当施設には入所ご利用者 120 名、通所事業、職員の安全を担保しなくてはならない為)
 - ・事業継続計画に伴う訓練を年 2 回 ・防災訓練を年 2 回実施
 - ・防災計画、マニュアル・BCP を再確認し、自然災害に備え、ご利用者、職員、地域の安心に繋げる
 - ④ 職員の働きやすい環境整備を行い、ICT 活用、業務サポートを行う
 - ・大規模改修事業の実施 エレベーター、給湯設備、電気設備、屋上防水の改修を安全を第一に実施
 - ・クルート活動を更に推進し、安定した運営を目指す(来期新卒 2 名採用)
 - ・局内の業務効率を図ると共に、他部門へソフト・ハード面、人的サポートを更に行い職員の直接業務以外の環境改善を行う

(3) 第三者評価実施(特養、グループホーム)、ご利用者満足度、職場環境調査、介護サービス情報公開の実施

2025年 年間スケジュール

4 月 予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
4	1 (月)					
4	2 (火)					
4	3 (水)					
4	4 (木)					
4	5 (金)					
4	6 (土)					
4	7 (日)					
4	8 (月)					
4	9 (火)					
4	10 (水)					
4	11 (木)					
4	12 (金)					
4	13 (土)					
4	14 (日)					
4	15 (月)					
4	16 (火)					
4	17 (水)					
4	18 (木)					
4	19 (金)					
4	20 (土)					
4	21 (日)					
4	22 (月)					
4	23 (火)					
4	24 (水)					
4	25 (木)					
4	26 (金)					
4	27 (土)					
4	28 (日)					
4	29 (月)					
4	30 (火)					

5 月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
5	1 (水)					
5	2 (木)					
5	3 (金)					
5	4 (土)					
5	5 (日)					
5	6 (月)					
5	7 (火)					
5	8 (水)					
5	9 (木)					
5	10 (金)					
5	11 (土)					
5	12 (日)					
5	13 (月)					
5	14 (火)					
5	15 (水)					
5	16 (木)					
5	17 (金)					
5	18 (土)					
5	19 (日)					
5	20 (月)					
5	21 (火)					
5	22 (水)					
5	23 (木)					
5	24 (金)					
5	25 (土)					
5	26 (日)					
5	27 (月)					
5	28 (火)					
5	29 (水)					
5	30 (木)					
5	31 (金)					

6 月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
6	1 (土)					
6	2 (日)					
6	3 (月)					
6	4 (火)					
6	5 (水)					
6	6 (木)					
6	7 (金)					
6	8 (土)					
6	9 (日)					
6	10 (月)					
6	11 (火)					
6	12 (水)					
6	13 (木)					
6	14 (金)					
6	15 (土)					
6	16 (日)					
6	17 (月)					
6	18 (火)					
6	19 (水)					
6	20 (木)					
6	21 (金)					
6	22 (土)					
6	23 (日)					
6	24 (月)					
6	25 (火)					
6	26 (水)					
6	27 (木)					
6	28 (金)					
6	29 (土)					
6	30 (日)					

7 月予定

月	日		全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
7	1	(月)					
7	2	(火)					
7	3	(水)					
7	4	(木)					
7	5	(金)					
7	6	(土)					
7	7	(日)					
7	8	(月)					
7	9	(火)					
7	10	(水)					
7	11	(木)					
7	12	(金)					
7	13	(土)					
7	14	(日)					
7	15	(月)					
7	16	(火)					
7	17	(水)					
7	18	(木)					
7	19	(金)					
7	20	(土)					
7	21	(日)					
7	22	(月)					
7	23	(火)					
7	24	(水)					
7	25	(木)					
7	26	(金)					
7	27	(土)					
7	28	(日)					
7	29	(月)					
7	30	(火)					
7	31	(水)					

8月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
8	1 (木)					
8	2 (金)					
8	3 (土)					
8	4 (日)					
8	5 (月)					
8	6 (火)					
8	7 (水)					
8	8 (木)					
8	9 (金)					
8	10 (土)					
8	11 (日)					
8	12 (月)					
8	13 (火)					
8	14 (水)					
8	15 (木)					
8	16 (金)					
8	17 (土)					
8	18 (日)					
8	19 (月)					
8	20 (火)					
8	21 (水)					
8	22 (木)					
8	23 (金)					
8	24 (土)					
8	25 (日)					
8	26 (月)					
8	27 (火)					
8	28 (水)					
8	29 (木)					
8	30 (金)					
8	31 (土)					

9 月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
9	1 (日)					
9	2 (月)					
9	3 (火)					
9	4 (水)					
9	5 (木)					
9	6 (金)					
9	7 (土)					
9	8 (日)					
9	9 (月)					
9	10 (火)					
9	11 (水)					
9	12 (木)					
9	13 (金)					
9	14 (土)					
9	15 (日)					
9	16 (月)					
9	17 (火)					
9	18 (水)					
9	19 (木)					
9	20 (金)					
9	21 (土)					
9	22 (日)					
9	23 (月)					
9	24 (火)					
9	25 (水)					
9	26 (木)					
9	27 (金)					
9	28 (土)					
9	29 (日)					
9	30 (日)					

10 月予定

月	日		全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
10	1	(火)					
10	2	(水)					
10	3	(木)					
10	4	(金)					
10	5	(土)					
10	6	(日)					
10	7	(月)					
10	8	(火)					
10	9	(水)					
10	10	(木)					
10	11	(金)					
10	12	(土)					
10	13	(日)					
10	14	(月)					
10	15	(火)					
10	16	(水)					
10	17	(木)					
10	18	(金)					
10	19	(土)					
10	20	(日)					
10	21	(月)					
10	22	(火)					
10	23	(水)					
10	24	(木)					
10	25	(金)					
10	26	(土)					
10	27	(日)					
10	28	(月)					
10	29	(火)					
10	30	(水)					
10	31	(木)					

11 月予定

月	日		全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
11	1	(金)					
11	2	(土)					
11	3	(日)					
11	4	(月)					
11	5	(火)					
11	6	(水)					
11	7	(木)					
11	8	(金)					
11	9	(土)					
11	10	(日)					
11	11	(月)					
11	12	(火)					
11	13	(水)					
11	14	(木)					
11	15	(金)					
11	16	(土)					
11	17	(日)					
11	18	(月)					
11	19	(火)					
11	20	(水)					
11	21	(木)					
11	22	(金)					
11	23	(土)					
11	24	(日)					
11	25	(月)					
11	26	(火)					
11	27	(水)					
11	28	(木)					
11	29	(金)					
11	30	(土)					

12 月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
12	1 (土)					
12	2 (日)					
12	3 (月)					
12	4 (火)					
12	5 (水)					
12	6 (木)					
12	7 (金)					
12	8 (土)					
12	9 (日)					
12	10 (月)					
12	11 (火)					
12	12 (水)					
12	13 (木)					
12	14 (金)					
12	15 (土)					
12	16 (日)					
12	17 (月)					
12	18 (火)					
12	19 (水)					
12	20 (木)					
12	21 (金)					
12	22 (土)					
12	23 (日)					
12	24 (月)					
12	25 (火)					
12	26 (水)					
12	27 (木)					
12	28 (金)					
12	29 (土)					
12	30 (日)					
12	31 (月)					

2025年 年間スケジュール

1 月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
1	1 (水)					
1	2 (木)					
1	3 (金)					
1	4 (土)					
1	5 (日)					
1	6 (月)					
1	7 (火)					
1	8 (水)					
1	9 (木)					
1	10 (金)					
1	11 (土)					
1	12 (日)					
1	13 (月)					
1	14 (火)					
1	15 (水)					
1	16 (木)					
1	17 (金)					
1	18 (土)					
1	19 (日)					
1	20 (月)					
1	21 (火)					
1	22 (水)					
1	23 (木)					
1	24 (金)					
1	25 (土)					
1	26 (日)					
1	27 (月)					
1	28 (火)					
1	29 (水)					
1	30 (木)					
1	31 (金)					

2月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
2	1 (土)					
2	2 (日)					
2	3 (月)					
2	4 (火)					
2	5 (水)					
2	6 (木)					
2	7 (金)					
2	8 (土)					
2	9 (日)					
2	10 (月)					
2	11 (火)					
2	12 (水)					
2	13 (木)					
2	14 (金)					
2	15 (土)					
2	16 (日)					
2	17 (月)					
2	18 (火)					
2	19 (水)					
2	20 (木)					
2	21 (金)					
2	22 (土)					
2	23 (日)					
2	24 (月)					
2	25 (火)					
2	26 (水)					
2	27 (木)					
2	28 (金)					

3 月予定

月	日	全体	特養	在宅部門	居宅部門	給食部門
3	1 (土)					
3	2 (日)					
3	3 (月)					
3	4 (火)					
3	5 (水)					
3	6 (木)					
3	7 (金)					
3	8 (土)					
3	9 (日)					
3	10 (月)					
3	11 (火)					
3	12 (水)					
3	13 (木)					
3	14 (金)					
3	15 (土)					
3	16 (日)					
3	17 (月)					
3	18 (火)					
3	19 (水)					
3	20 (木)					
3	21 (金)					
3	22 (土)					
3	23 (日)					
3	24 (月)					
3	25 (火)					
3	26 (水)					
3	27 (木)					
3	28 (金)					
3	29 (土)					
3	30 (日)					
3	31 (月)					